

# 平成 26 年度復興施策シート

---

八戸市復興計画推進市民委員会

## 4 . 防災力の強化

八 戸 市

平成 26 年 8 月 27 日

## 復興施策シート目次

### 4. 防災力の強化

- (1) 防災体制の強化 ..... 1
- (2) 水・エネルギー対策の充実 ..... 17
- (3) 災害に強い地域づくり ..... 23

### 施策シートの見方

#### ・目指す姿：

復興計画の「第2 施策の基本方向」に基づき、当該項目について、特定の時点を定めず、将来的に「このようになっていたらよい」という姿を掲載しています。

#### ・有識者アンケートにおける満足度：

平成 26 年 5 月に実施した「有識者アンケート」における各施策についての現状に対する満足度の得点を掲載しています（「十分満たされている」を 3 点、「まあまあ満たされている」を 2 点、「あまり満たされていない」を 1 点、「満たされていない」を 0 点とし、当該回答者数（「どちらともいえない」と「わからない」を除く。）で割った平均値で、3 点満点。）

第 5 次八戸市総合計画・八戸市復興計画有識者アンケート調査報告書及び参考資料を参照してください。

#### ・施策の工程：

復興計画における当該施策の内容毎の工程表を掲載しています。

#### ・参考指標：

当該施策の動向を把握するのに参考となる指標を掲載しています。  
この指標をもって当該施策の達成度を測るものではありません。

#### ・主要事業：

当該項目を構成している、創造的復興プロジェクト等の主要な事業です。

【実施状況】は平成 25 年度(又は 25 年度迄)の実施状況、【今後の予定】は平成 26 年度以降の実施状況及び予定を記載しています。事業名に がついている事業は、創造的復興プロジェクト事業です。また、 印がついている事業は、八戸市総合計画の戦略プロジェクトにも位置づけられている事業です。さらに、事業名の隣に次の事業区分を記載しています。

完了...平成 25 年度に完了した事業

追加...策定時の復興計画に未掲載で、今回追加した事業

#### ・事業費：

市が事業主体の事業について、平成 25 年度の決算額、平成 26 年度の予算額を記載しています。なお、決算額及び予算額には、繰越事業費分を含み、事業費には、人件費（事業費支弁以外）を含みません。

#### ・施策を取り巻く課題や論点：

意見を頂くための行政側からとらえた課題や論点です。意見を述べるにあたっての参考としてください。

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																													
施策名	4 - ( 1 ) 防災体制の強化																													
施策の概要	計画・体制	〔目指す姿〕 大震災の経験・教訓を生かし、市の地域防災計画の検証・見直しが進むなど、総合的かつ計画的な防災体制の強化が図られている。	有識者アンケートにおける満足度 H24 H25 H26 1.67 1.90 1.80																											
	訓練・教育	〔目指す姿〕 平常時の防災訓練や防災教育、災害時における広報体制の強化や避難所等の整備により、災害に対する備えと災害応急体制が充実している。	有識者アンケートにおける満足度 H24 H25 H26 1.57 1.77 1.71																											
施策の工程																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>復旧期</th> <th>再生期</th> <th>創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">H26</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H27</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H28</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H29</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H30</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H31</td> </tr> <tr> <td colspan="3">H32</td> </tr> </tbody> </table>				復旧期	再生期	創造期	H23	H24	H25	H26			H27			H28			H29			H30			H31			H32		
復旧期	再生期	創造期																												
H23	H24	H25																												
H26																														
H27																														
H28																														
H29																														
H30																														
H31																														
H32																														
<table border="1"> <tr> <td>防災計画の検証・改訂</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>津波等を想定した防災訓練の充実</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>広報体制の強化</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>				防災計画の検証・改訂				津波等を想定した防災訓練の充実				避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実				広報体制の強化				防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発				東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開						
防災計画の検証・改訂																														
津波等を想定した防災訓練の充実																														
避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実																														
広報体制の強化																														
防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発																														
東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開																														
参考指標の動向		(震災後締結の13協定(うち25年度以降の締結分4協定( ~ )) 石油基地自治体協議会加盟団体災害時相互応援協定 (協議会加盟56市町) 災害時の石油燃料優先供給に関する協定 (青森県石油商業組合八戸支部) 災害ごみの収集運搬に関する協定 (八戸市一般廃棄物処理業者連絡協議会) 福祉避難所の確保に関する協定 (社会福祉事業者57団体) 災害時における災害情報等の放送に関する協定 (株式会社ビーエフエム) 災害時要援護者の支援に関する協定 (市社会福祉協議会及び7地域団体) 災害時の通信設備復旧等の協力に関する協定 (株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社八戸支店) 特設公衆電話の設置・利用に関する覚書 (東日本電信電話株式会社青森支店) 災害時における物資供給に関する協定(段ボールベッド等) (東北カートン株式会社) 警察署使用不能時における施設使用に関する協定 (青森県八戸警察署) 災害に係る情報発信等に関する協定 (ヤフー株式会社) 液化石油ガス及び応急対策用資機材の供給に関する協定 (一般社団法人青森県エルピーガス協会) 物資輸送及び物資拠点の運営等に関する協定 (青森県トラック協会三八支部)																												
災害協定の締結数(累計) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>震災前</th> <th>震災後 (H26.5.20時点)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>締結協定数</td> <td>31協定</td> <td>44協定</td> <td>+13協定</td> </tr> </tbody> </table>		区分	震災前	震災後 (H26.5.20時点)	増減	締結協定数	31協定	44協定	+13協定																					
区分	震災前	震災後 (H26.5.20時点)	増減																											
締結協定数	31協定	44協定	+13協定																											

凡例

事業	復興計画の事業名	事業区分 (完了・追加)	<事業主体>	事業費	H25 決算	千円
					H26 予算	千円
【事業概要】	【実施状況】		【今後の予定】			
	H25 年度(又は H25 年度迄)の状況		H26 年度以降の状況・予定			

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）  
防災計画の検証・改訂

01	八戸市地域防災計画の検証・改訂		<事業主体> 市	事業費	H25 決算	515 千円
					H26 予算	1,345 千円
【事業概要】	東日本大震災を ふまえた八戸市地 域防災計画の検証 と見直し	【実施状況】 S40.3 地域防災計画策定 ・以降 10 回の計画改定 H25.4 H24.6 改正の災害対策基本法（第 1 弾改正） を踏まえた改定作業開始 H25.6 改正の災害対策基本法（第 2 弾改正）の一部 反映及び特別警報等を反映 H25.12 修正案の各課照会、防災会議委員へ照会 H26.1 防災会議開催 H26.2 県知事へ改定報告 H26.3 印刷配布	【今後の予定】 H26.6 H25.6 に改正された災害 対策基本法が反映された「市 町村地域防災計画の手引き （県防災消防課作成）」を受領 後、その内容を受け市地域防 災計画本編（地震編、風水害 等編）及び資料編編の改定作 業開始 H27.3 防災会議委員等へ改定後 の地域防災計画を配布予定			
02	津波避難計画の検証・改訂		<事業主体> 市	事業費	H25 決算	0 千円
					H26 予算	8,677 千円
【事業概要】	東日本大震災を ふまえた八戸市津 波避難計画の検証 と見直し	【実施状況】 H25.5～7 津波避難対策に係る意見交換会を 19 会 場で開催 H26.3 地域住民等の意見を反映した「津波避難施設 整備計画策定事業」の成果品（津波避難計画 改訂案、津波避難計画図案）受領	【今後の予定】 津波避難計画の改訂 H26.4～12 津波避難対策に係 る新たなガイドライン等の情 報収集や関係課との調整等 により、津波避難計画の改訂 H27.3 正本版を防災関係機関 へ、概要版を津波浸水想定区 域内の事業所へ配布予定 津波避難計画図の作成 H26.8～9 地元住民代表等へ の説明会を開催し、意見を基 に津波避難計画図案を修正 H27.3 完成版を津波浸水想定 区域内の世帯へ配布予定			

03	事業所等における業務継続計画の策定・充実	<事業主体> 県・市・民	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>市役所業務継続計画（地震編）の策定及び、民間事業者が災害時に重要業務を継続するための事業継続実施計画の策定及び充実</p>	<p>【実施状況】</p> <p>市役所業務 災害時においても必要な業務を継続するため、通常業務を「優先」、「縮小」、「休止」の三段階に区分した業務整理表を策定していたところであるが、より柔軟に対応できるよう、H24年度からH25年度にかけてさらに五段階に細分化する作業を行った。</p> <p>民間事業者 県の「災害に強いあおもり企業育成事業」 ・BCP 普及啓発セミナー開催（青森市、弘前市、八戸市） ・BCP 策定指導者育成講座（青森市） ・BCP 策定実践塾（青森市、八戸市） ・BCP 策定支援成果発表会（青森市） 市では、事業の周知を市ホームページなどで実施</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>市役所業務 H26年度改定予定の市地域防災計画との整合性を図りながら、H26年度中を目途に業務継続計画（地震編）の策定を進めていく。</p> <p>民間事業者 県の「災害に強いあおもり企業育成事業」はH25年度で終了。今後、県と連携し普及・啓発事業を検討する。</p>			
04	安全・安心まちづくり推進協議会の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H25 決算	193 千円
				H26 予算	197 千円
<p>【事業概要】</p> <p>災害に強いまちづくりに対応した協議会の機能充実</p>	<p>【実施状況】</p> <p>市民、連合町内会、地域ボランティア団体、事業者、市、教育委員会、警察、消防、その他関係機関・団体と、安全で安心な「まちづくり」についての意見交換や情報交換を行う</p> <p>H26.2.4 八戸市安全・安心まちづくり推進協議会開催（出席：61団体 224名）</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>事業継続実施</p>			
05	津波ハザードマップの改訂	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>新たな津波シミュレーションに基づく、八戸市地震津波防災マップの改訂</p>	<p>【実施状況】</p> <p>H25.3 八戸市地震津波防災マップの改訂（県の新たな津波シミュレーションの結果を踏まえ実施）</p> <p>・八戸市防災マップ &lt;配布先&gt; 防災関係機関等 955件 (1,025部配布)</p> <p>・津波避難ハンドブック &lt;配布先&gt; 全戸及び全事業所 107,464件</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>H26年度策定予定の津波避難計画や指定避難所・津波避難ビルの新規指定等を踏まえ、八戸市防災マップに記載されている情報の更新について整理し、住民配布予定の津波避難計画概要版との整合をとる。</p>			

津波等を想定した防災訓練の充実

06	総合防災訓練・地区防災訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H25 決算 1,825 千円 H26 予算 3,000 千円
【事業概要】 総合防災訓練・地区防災訓練の充実	【実施状況】 防災関係機関や地域住民と連携し、地震・津波・洪水などの大規模災害に備えた防災訓練を実施 八戸市総合防災訓練 <実施日> H25.8.25 <実施場所> 白銀地区 <参加人数> 近隣住民等約 1,147 人 <訓練内容> 海上訓練、津波避難訓練、陸上訓練、多重交通事故救助救出訓練等 地区防災訓練 各地区の町内会や自主防災会等が実施 H25 年度：19 地区で実施	【今後の予定】 八戸市総合防災訓練 H26 年度は、青森県総合防災訓練に合わせて実施 <実施日> H26.8.31 <場所> 八太郎公園及び根岸地区 <訓練内容> 海上訓練、国民保護訓練、津波避難訓練  地区防災訓練の指導・支援		
07	図上防災訓練の充実	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H25 決算 741 千円 H26 予算 32 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた図上防災訓練の充実	【実施状況】 市職員の「八戸市地域防災計画」及び多様な災害に応じた「初動体制マニュアル」の習熟並びに同マニュアルの整備を目的として、図上訓練を実施するとともに、その他の個別防災訓練（通信訓練等）と組み合わせた実践的な訓練を行う。 H25.5 休日における職員参集訓練 ・災害対策本部立上マニュアル（案）に基づく災害対策本部設置等訓練と職員参集訓練の検証 H26.2 無線通信訓練 ・避難所通信システムの運用要領の検証	【今後の予定】 H26.11 陸上自衛隊の協力を得て災害対策本部運営訓練 ・陸上自衛隊東北方面隊が実施する「みちのく ALERT2014」に参加 H27.2 避難所に派遣される職員を対象とした避難所運営図上訓練 HUG ・津波避難計画改訂に基づく避難要領の確認		
08	事業所における防災訓練の充実	<事業主体> 民	事業費	H25 決算 - 千円 H26 予算 - 千円
【事業概要】 民間事業所における防災訓練の充実	【実施状況】 事業所において、施設の耐震化、従業員の安全確保、食料・飲料水の備蓄等に努めるとともに、周辺地域の住民との連携による地域の防災力の向上に取り組むことが重要であるため、事業所防災計画の作成を指導するとともに防災訓練を実施し、事業所の防災体制の充実強化を図る。 <消火・避難訓練実施状況> ・消防計画に基づく訓練の実施が必要な防火対象物数：2,051 特定防火対象物 収容人員 30 人以上、 非特定防火対象物収容人員 50 人以上のもの ・訓練実施対象物数 消火訓練：770 避難訓練：819 ・訓練実施率 消火訓練：55.9% 避難訓練：59.5% 特定防火対象物のうち、消火・避難訓練を実施した対象物数	【今後の予定】 ・事業所防災計画の作成指導 消防本部で指導実施 ・事業所防災訓練の充実 消防本部で指導実施		

避難所・避難路等の検証と避難所運営の充実

09	市避難所運営体制の再検討	<事業主体> 市・関係機関	事業費	H25 決算 3,176 千円 H26 予算 4,105 千円
【事業概要】 東日本大震災をふまえた八戸市避難所運営マニュアルの再検討、関係機関や地域団体との連携による避難所運営体制の検討及び情報通信技術を活用した、避難所運営における情報伝達・共有方法の検討	【実施状況】 H25.8 白銀公民館における避難所運営マニュアルの作成支援 H25.12 可搬式発電機を配備した避難所へ、ガソリン携行缶を購入配備 H26.3 避難所へラジオ、筆記用具等、最低限の避難所用具を配備 ・地域の特性・状況に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援 ・災害対策基本法の改正に合わせた、八戸市避難所運営マニュアルの検証		【今後の予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性・状況に合わせた避難所運営マニュアルの作成支援</li> <li>・災害対策基本法の改正に合わせた、八戸市避難所運営マニュアルの改訂、関係各課説明</li> <li>・105箇所指定避難所へ配備したガソリン発電機及び寄附により分散配備したガス発電機（24台）の点検</li> <li>・配備した防災資機材の管理</li> </ul>
10	津波に対応した避難所・避難路の再検討	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 0 千円 H26 予算 0 千円
【事業概要】 東日本大震災の津波被害をふまえた避難地・避難所・避難路の再検討	【実施状況】 H25.10 未指定の市内県立高校及び県立施設の避難所指定について協議 H26.3 未指定の市内県立高校及び県立施設を避難所として8施設指定（県立八戸、八戸北、八戸西、八戸東、八戸工業、八戸商業、八戸中央、種差少年自然の家）		【今後の予定】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大津波浸水想定区域内の避難者を収容するため、市内私立高校や市内私立大学等の避難所指定を検討する。</li> <li>・指定済み避難所について、災害毎に指定緊急避難場所及び指定避難所に区分するための検証を行う。</li> <li>・避難所における生活環境の改善を進める。</li> </ul>

11	津波避難ビルの指定・整備検討	<事業主体> 県・市	事業費 H25 決算 281,676 千円 H26 予算 325,715 千円
<p><b>【事業概要】</b> 津波発生時の避難困難地域における避難ビル指定の再検討及び津波避難ビル(タワー等)整備の検討</p>	<p><b>【実施状況】</b> 津波避難ビル指定 H17.2 横浜冷凍(株)と八戸貿易センターを指定 H24.1 小中野小学校を指定 H25.2 青森県津波シミュレーションの結果を踏まえ、津波避難ビルを17箇所追加指定 H26.3 八戸火力発電所、八戸中央高等学校を指定</p> <p>津波避難施設整備計画策定業務 H24.10 青森県津波シミュレーション公表 H24.12 津波避難施設整備計画策定業務委託契約 H25.3 津波避難施設整備計画変更契約(期間延長) H26.3 津波避難施設整備計画策定業務委託完了</p> <p>小中野公民館防災拠点施設整備事業 H25.4 小中野公民館・小中野コミュニティセンター解体工事発注 H25.6 小中野公民館防災拠点施設 本棟工事発注 H25.7 小中野公民館防災拠点施設 電気設備工事、機械設備工事、工事監理業務委託、設計意図伝達業務委託、テレビ受信障害現況調査業務委託 各工事・業務発注</p> <p>多賀地区津波避難タワー建設事業 H24.3 多賀地区復興まちづくり計画策定 H25.8~10 整備施設の規模、位置等を検討 H25.11.29 復興交付金(第7回)採択 H26.2 用地測量業務委託契約締結</p> <p>沼館地区津波避難ビル整備事業 H24.12 沼館地区住民団体から、H23.12に緊急防災避難所の整備に関する陳情があり、H24.12月定例会で議会採択 H25.12、H26.1 陳情者と意見交換</p> <p>多賀地区津波避難施設整備事業(多賀地区多目的運動場管理棟4階を津波避難施設として整備するもの) H25.11.29 復興交付金(第7回)採択</p>	<p><b>【今後の予定】</b> 津波避難ビル指定 H26.4 八戸盲学校・聾学校を指定 H26.7 小中野公民館を指定 ・津波避難ビルに関わる新ガイドライン等に基づき、新たな津波避難ビルの指定検討</p> <p>小中野公民館防災拠点施設整備事業 H26.6.23 落成式 H26.6.30~ 開館</p> <p>多賀地区津波避難タワー建設事業 H26年度 用地買収、地質調査、基本・実施設計、土地造成、工事 H27年度 工事</p> <p>沼館地区津波避難ビル整備事業 整備に向けて事業継続実施(地質調査、基本設計)</p> <p>多賀地区津波避難施設整備事業 整備に向けて事業継続実施(地質調査、用地買収、実施設計、関係機関との協議、許認可に関する申請手続き、工事着手等)</p>	



12	小・中学校における防災体制の強化	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
【事業概要】 東日本大震災を ふまえた各学校の 危機管理マニュアルの 検証・改善（避難場 所・避難経路の複数 設定等）	【実施状況】 H24.4 小中学校長に「児童生徒の安全指導及び学校の安全管理について」の通知 ・学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し ・災害発生に備えた安全管理  H24.7 停電時の非常放送用無停電電源装置（UPS）を設置 ＜小学校＞ 22 校 22 台 ＜中学校＞ 11 校 11 台  H25.5～ 学校訪問において、危機管理マニュアルの見直しについて指導・助言 H25.10 市内小中学校長に「特別警報時における対応について」の通知 H26.3 市内小中学校長に「地域安全マップの活用・掲示について」の通知	【今後の予定】 校長会等で指導・助言 ・津波等を想定した避難訓練の実施 ・避難場所、避難経路の複数設定 ・災害時の児童生徒の登下校（保護者への引渡し手段の確認） ・災害時の教職員体制と児童生徒への連絡等の確認 ・災害時における対応についての保護者への周知			
13	備蓄品目及び備蓄数の検証・充実	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	100,993 千円
				H26 予算	4,000 千円
【事業概要】 津波指定避難所へのLEDライト・ろうそく・毛布等の配備及び救済物資の備蓄品目・備蓄数及び調達に係る検証・充実	【実施状況】 防災倉庫（2棟）の新設（H26.3.25完成） 西部・農業経営振興センター内（尻内町字毛合清水） 東部・第二青潮小学校建設予定地内（湊高台4丁目） 旧八戸消防署への収納棚設置（H26.3） 津波避難ビル等への非常食・保存水及び毛布の備蓄（H26.2） 非常食・保存水：20箇所津波避難ビル 毛布：八戸港貿易センター、横浜冷凍、東北センターミナル、水産会館、総合教育センター、下水道事務所、旧八戸消防署	【今後の予定】 H26年度 ・備蓄計画の策定 ・備蓄品の購入配備 ・備蓄品及び防災倉庫の維持・管理  H27年度以降 ・備蓄計画に基づき実施			
14	新学校給食センターの整備検討	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	- 千円
【事業概要】 災害時にも対応しうる給食センター整備の検討	【実施状況】 災害時における避難者への食事供給体制の中に、給食センターを組み入れることについて、防災担当部局と協議した結果、防災倉庫の増設や避難所への分散備蓄等、備蓄機能の強化を図ることで対応する方針となったことから、給食センターに食事提供機能を付与しないことに決定	【今後の予定】 -			

15	物資供給等災害時における支援協力協定の検証・改定	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 0千円	0千円
【事業概要】 市が災害時に備えて各種団体と締結している様々な災害協定の検証・改定	【実施状況】 災害協定の締結状況(H26.3.31 現在：43 協定) H22 年度までの協定数：31 H23 年度に締結した協定数：6 H24 年度に締結した協定数：3 H25 年度に締結した協定数：3 ・警察署使用不能時における施設使用に関する協定（青森県八戸警察署） ・災害に係る情報発信等に関する協定（ヤフー株式会社） ・災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の供給に関する協定（一般社団法人青森県エルピーガス協会）			【今後の予定】 事業継続実施 ・津波避難計画改訂に関わる協定の締結（バス会社、宿泊事業者等） ・災害時に円滑な支援を受けるための連絡体制の強化 ・新たに民間事業者等の支援が必要な事案を検討し、協定の締結を進める。 H26.5.20 「災害時における物資輸送及び物資拠点の運営等に関する協定」を青森県トラック協会三八支部と締結 協定締結数合計：44 協定 ・既締結協定について、災害時に有効に機能させるため、内容の精査を行う。	
16	指定避難所の耐震化	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 17,236千円	17,236千円
【事業概要】 公民館等の耐震診断、耐震補強の実施	【実施状況】 H25.7～10 耐震診断実施(地区公民館等 12 施設) <診断結果> 鉄骨造の4施設(是川、館、根城、江陽公民館)が耐震基準を満たしていないことが判明 <対応方針> ・館公民館 / 江陽公民館 H26 年度 解体、設計、H27 年度 建替え工事 ・是川公民館 / 根城公民館 順次建替えの方向で検討 H26.2～ 施設閉鎖(館及び江陽公民館) H26.3 館公民館については仮事務所を設置し、業務継続(近隣施設間借)			【今後の予定】 H26 年度 (館公民館、江陽公民館) 既存施設解体工事 新築基本・実施設計業務委託 地質調査業務委託  H27 年度 (館公民館、江陽公民館) 建替え工事実施 (是川公民館及び根城公民館) 順次建替え等の方向で検討していく	
17	小・中学校における避難所機能の整備	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 10,000千円	10,000千円
【事業概要】 非常用発電機の配備と救援物資、機材等の備蓄機能の整備の検討及び屋内運動場等天井等落下防止対策	【実施状況】 H24 年度まで 市内全小中学校に非常用発電機を配備 H25 年度 非常時に避難所として使用される市内小中学校の屋内運動場等の照明器具、バスケットゴール等の落下防止対策(点検)を実施(H25 年度から H26 年度の2 年間) H25.10 函南小学校屋内運動場天井等落下防止対策点検及び実施設計業務委託 H25.12 中居林小学校他 23 校屋内運動場天井等落下防止対策点検業務			【今後の予定】 H26 年度 引き続き点検業務実施。また、点検結果に応じて、必要な部位に落下防止対策工事を施工 H27 年度 H26 年度点検結果に応じて、必要な部位に落下防止対策工事を施工 H28 年度以降 第一中学校他 11 校の柔剣道場の吊天井、照明器具等の点検実施	

18	総合保健センターの整備(再掲)	<事業主体> 市・関係機関	事業費 H25 決算 149 千円 H26 予算 102 千円
<p>【事業概要】 田向地区に、災害時に保健・医療活動の拠点となる総合保健センターの整備の推進</p>	<p>【実施状況】 H23.3 に作成した(仮称)八戸市総合保健センター基本構想(案)をもとに、建設手法、規模、費用負担等を検討 (仮称)八戸市総合保健センター検討会議 ・H25 年度開催実績:1 回 ・設置:H22.7 ・目的:(仮称)八戸市総合保健センター基本構想の検討 ・構成:医師会、歯科医師会、薬剤師会、総合健診センター、市 (仮称)八戸市総合保健センター整備庁内検討会議 ・H25 年度開催実績:8 回 ・設置:H25.7 ・目的:総合保健センター構想に係る市の整備方針(案)の作成等 ・構成:副市長、市民健康部長、関係課長(8 課) (仮称)八戸市総合保健センターにおける市関連施設の整備方針 ・決定:H26.2</p>	<p>【今後の予定】 ・市関連施設の機能及び諸室面積等について、機能担当課(健康増進課、高齢福祉課、総合教育センター、総合保健センター推進室)で協議・調整 ・関係団体内部で課題等を検討・協議してもらい、総合保健センター整備に向けて取組むこと等についての機関決定を受けて、市で基本構想を策定 ・基本構想策定後は、基本設計、実施設計等の段階を踏んで建設工事を実施</p>	
19	福祉避難所の指定・整備	<事業主体> 市	事業費 H25 決算 2,799 千円 H26 予算 122,000 千円
<p>【事業概要】 災害時要援護者等の避難支援として、福祉避難所の指定・整備</p>	<p>【実施状況】 八戸市の福祉避難所の協定締結施設:66 施設 (定住自立圏での相互利用可能施設:163 施設) (H26.3.31 現在) H23.12.22 市内及び近隣町の社会福祉事業者と福祉避難所の確保に関する協定締結 H24.3 八戸市福祉避難所設置・運営マニュアル作成 H24.7~9 要援護者抽出チーム員研修会開催 H25.2 福祉施設「防災土」との福祉避難所に関する協議 H25.4.1 社会福祉事業者と福祉避難所の確保に関する定住自立圏での相互利用を可能にする協定締結 H25.7~8 要援護者抽出チーム員研修会開催 H25.11 福祉公民館・福祉体育館の耐震診断実施</p>	<p>【今後の予定】 ・福祉公民館トイレ改修工事、敷地内舗装等工事実施 ・社会福祉事業者と福祉避難所の確保に関する定住自立圏での相互利用を可能にする協定締結 ・福祉避難所の指定・整備 ・施設福祉避難所向けマニュアルの作成(予定) H26.7 要援護者抽出チーム員研修会開催</p>	

20	避難所・避難路サインの整備	< 事業主体 > 市	事業費	H25 決算 510 千円 H26 予算 31,977 千円
【事業概要】 災害時の避難所・避難路を表示する標識等の整備	【実施状況】 避難所標識の設置状況(新規、老朽化による更新等) H25 年度 新規設置 1 箇所(南部山体育館) 更新設置 5 箇所 合計 6 箇所 標高(海拔)の表示状況 ・避難所: H24 年度 124 箇所、H23 年度 3 箇所 ・バス停: H24 年度 238 箇所 津波避難誘導標識等設置事業(復興交付金事業) 事業目的: 津波災害発生時に、地域住民及び来訪者が、迅速かつ適正な避難行動がとれるよう、次の標識を設置 避難誘導標識: 137 箇所程度 照明灯及び避難場所標識: 25 箇所程度 H26.3.7 復興交付金(第8回)事業として採択	【今後の予定】 避難所標識の設置(11 箇所) 新規設置: 7 箇所 更新設置: 4 箇所 津波避難ビル標識の設置(24 箇所) 津波避難誘導標識等設置事業(設計業務委託の実施)		
21	多賀地区津波防災まちづくり事業 (再掲)	< 事業主体 > 市	事業費	H25 決算 0 千円 H26 予算 0 千円
【事業概要】 住家被害の最も大きかった市川町多賀地区を対象に、災害時には避難施設となる公共施設や避難路等の整備に向けた「多賀地区復興まちづくり計画」を策定し、これに基づき施設等の整備	【実施状況】 H24.5.21 第1回検討委員会(策定方針等) H24.6 地元説明会・地区住民アンケート H24.6~7 関係団体ヒアリング(自主防災会、民生委員、八戸専生産組合、市川漁業協同組合) H24.7.24 第2回検討委員会 (住民意見を反映した検討の方向性) H24.10.2 最大クラスの津波浸水想定公表(青森県) H25.2.22 第3回検討委員会 (多賀地区における津波避難対策の考え方) H25.3.4 地元意見交換会 H25.3.18 第4回検討委員会 (多賀地区復興まちづくり計画案) H25.3.21 計画案の市長提出・計画策定 H25.6.25 復興交付金(第6回)交付可能額通知 ・橋向尻引線ほか2路線の道路改良 H25.11.29 復興交付金(第7回)交付可能額通知 ・市川後高屋敷線ほか2路線の道路改良 ・津波避難施設、津波避難タワーの整備	【今後の予定】 国の復興予算等を活用し、避難路および津波避難施設の早期整備を目指すとともに、ソフト対策(避難誘導対策等)に取り組む。		

広報体制の強化

22	防災行政無線仮復旧事業	H23 完了
----	-------------	--------

23	津波避難誘導標識の復旧・整備	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 120 千円 H26 予算 24,722 千円
【事業概要】 被害を受けた津波避難誘導標識の復旧と新規整備	【実施状況】 太陽電池式津波避難誘導標識(全8基) 移設:1基(種差海岸から八戸港フェリーターミナルへ) 誘導標識文字板の修正:5基 誘導標識文字板の文言追加表示:1基 津波避難誘導標識等設置事業(標識等の新規整備) 事業目的: 津波災害発生時に、地域住民及び来訪者が、迅速かつ適正な避難行動がとれるよう、避難誘導標識や照明灯、避難場所標識を設置するもの H26.3.7 復興交付金(第8回)交付可能額通知	【今後の予定】 津波避難誘導標識等設置事業  H26 年度 測量設計 H27 年度 工事		

24	防災行政無線本復旧事業	<b>H24 完了</b>
----	-------------	---------------

25	災害時における広報体制の 検証・強化	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 11,202 千円 H26 予算 2,439 千円
【事業概要】 防災無線・広報車・ホームページ・ほっとスルメール等、広報体制の検証・強化及び災害時の広報手段としてのコミュニティFM等との連携強化及び携帯電話へのエリアメール配信等、新たな媒体や情報通信技術を活用した広報体制の充実	【実施状況】 H23.8.1 エリアメール運用開始(今後広報媒体として位置付け) H24.1.18 コミュニティ FM 放送局との災害協定締結 H24.3.11 au 及びソフトバンクの緊急速報メールの運用開始 H24.5.11 緊急割込放送訓練の実施 H24.9.1 安全・安心情報システムのカテゴリ追加(「クマ・サル等出没情報」) H25.3.25 安全・安心情報システムの改修(エリアメール等との連携、気象情報XML化対応)完了、運用開始 H26.2.12 安全・安心情報システム改修完了、運用開始 (ほっとスルメールのシステム経由で、ほっとスルメール登録者やエリアメール、緊急速報メールへ全国瞬時警報システム(J-ALERT)の情報を自動配信) 加入件数 33,128件(H26.3.31現在) (内訳:一般登録16,040件、学校関係者14,827件、市職員380件、消防本部421件、消防団員751件、やさしい日本語・英語35件、市民病院職員参集674件)	【今後の予定】 ・メール配信業務、加入促進啓蒙活動等のほか、引続き、広報体制の継続的検証・強化を検討		

26	防災行政無線の増設	<事業主体> 市	事業費 H25 決算 0 千円 H26 予算 85,840 千円
【事業概要】 河川沿岸への防災行政無線の増設	【実施状況】 H25.1 既設子局 102 基に加え、新たに 21 基の子局を新設し、123 局体制で本格運用を開始 H25.1～7 沿岸部の難聴地域を調査し、増設箇所を検討 H26.3 八戸市防災行政無線(同報系)屋外拡声子局(11 基増設)設置工事請負契約締結(H26 へ繰越)	【今後の予定】 ・子局の音達状況等を調査し、スピーカーの方向調整や変更により、難聴地域解消を目指す。 ・子局を 11 基増設予定(H25 年度繰越分) ・子局を 9 基程度増設予定(H26 年度分)	
27	障がい者等への情報伝達体制の検討(在住外国人等)	<事業主体> 市	事業費 H25 決算 4 千円 H26 予算 147 千円
【事業概要】 視聴覚障がい者や在住外国人等に対する災害発生情報の伝達体制を検討	【実施状況】 在住外国人等 H25.2 ・ほっとスルメール、エリアメール、緊急速報メールのメール文ひな形を作成(英語・やさしい日本語) ・外国人のための防災ガイドブックを作成し、市内在住外国人世帯向けに、ガイドブックを送付(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語) ・外国人用ほっとスルメール 周知チラシの作成・配布(日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語) H25.3 外国人用ほっとスルメール稼働 H25.4 周知チラシの内容一部修整 障がい者 H24.3 福祉避難所設置・運営マニュアル策定 H24.9 福祉避難所運営マニュアルに基づく抽出訓練 H25.4 要援護者マップシステムの稼働 H26.3 要援護者のマップシステムと FAX 一斉送信システム(BIZ ファックス)の連携について、福祉政策課と協議	【今後の予定】 在住外国人等 ・緊急情報伝達体制の周知による登録者増を図る。 (周知チラシの在住外国人世帯への送付、広報はちのへ・市ホームページへの記事掲載等) ・津波浸水予測図に対応した避難所一覧の翻訳・配布 障がい者 ・聴覚障がい者 要援護者のマップシステムと FAX 一斉送信システム(BIZ ファックス)の連携による適切な災害情報の提供、及び「ほっとスルメール」との連携を検討 ・視覚障がい者 H26 年度から日常生活用具給付事業の種目に、緊急警報放送受信機能を持った地上デジタル放送対応ラジオを加えていることから、対象者に周知し、購入補助を行う。	

**防災教育・研究活動の推進と防災意識の啓発**

28	小・中学校における防災教育の推進	<事業主体> 市・高等教育機関	事業費	H25 決算 200 千円 H26 予算 5,200 千円
<p>【事業概要】</p> <p>東日本大震災をふまえた防災教育や避難訓練の充実、地域密着型教育の推進を通じた防災教育への取組、研修等による教職員の防災能力向上及び高等教育機関による防災教育の支援</p>	<p>【実施状況】</p> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東日本大震災をふまえた防災教育・避難訓練の充実</li> <li>2 防災教育支援事業による自らの命を自ら守ろうとする態度や能力の育成</li> <li>3 研修・研究等による教職員の防災教育の推進</li> </ol> <p>H25 年度実績</p> <p>H25.6～ 防災教室支援事業開始 小学校7校、中学校4校開催</p> <p>H26.2 教科等研究委員(防災教育部会)研究発表</p> <p>H26.3.11 「八戸市防災教育の日」 安全指導、体験活動、安全点検等実施</p>	<p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育支援事業の実施</li> <li>・八戸市防災教育の日(3.11)の実施</li> <li>・八戸市独自の小中学生を対象とする「防災教育副読本」を作成(H27年度配付)</li> </ul>		

29	子ども防災力アップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
----	----------------	---------------

30	地元高等教育機関による防災・復興に関する調査研究活動の促進	<事業主体> 市・高等教育機関等	事業費 H25 決算 871 千円 H26 予算 2,000 千円
<p>【事業概要】</p> <p>八戸工業大学、八戸大学、八戸工業高等専門学校との3校と八戸市の連携による「八戸市都市研究検討会」での専門性の高い調査研究活動や提言等の実施及び八戸工業大学「防災技術社会システム研究センター」等の調査研究活動の促進</p>	<p>【実施状況】</p> <p>八戸市都市研究検討会</p> <p>H25.11 第7回八戸市都市研究検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終報告 / 「大震災を踏まえた防災・減災に関する調査研究」、中間報告 / 「都市のイメージづくりと情報発信力の強化に関する調査研究」</li> </ul> <p>H26.2 第8回八戸市都市研究検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終報告 / 「都市のイメージづくりと情報発信力の強化に関する調査研究」、テーマ選定 / 「八戸市のリノベーション戦略に係る調査研究」</li> <li>八戸工業大学 / 防災技術社会システム研究センター</li> <li>第2回市民と一緒に考える国際防災フォーラム &lt;開催日&gt;H25.10.31 &lt;内容 / 講演セッション・ポスターセッション&gt; 東日本大震災で被災した青森県と八戸市への復興支援など</li> <li>第5回防災フォーラム中間報告会 &lt;開催日&gt;H26.1.30 &lt;内容 / 基調講演・活動報告・研究事例発表&gt; 地域活性化に向けて、環境とエネルギー、防災・減災の技術、本サテライトにおける地域連携活動など</li> <li>3.11 防災フォーラム 2014 &lt;開催日&gt;H26.3.11 &lt;内容 / 基調講演・震災復興事業報告等&gt; 青森県海岸の大津波の仕組み、八戸市など被災二市二町による震災復興事業報告等</li> <li>3 高等教育機関震災フォーラム &lt;開催日&gt;H26.3.15 &lt;内容 / 基調講演・活動報告&gt; 八戸工業大学: 防災技術社会システム研究センター活動報告、八戸学院大学: 八戸市都市研究検討会議報告、八戸工業高等専門学校: チーム北リアス活動報告 等</li> </ul>	<p>【今後の予定】</p> <p>八戸市都市研究検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年2回程度の開催予定</li> <li>各プロジェクトチームの調査研究の進捗状況を見ながら、新たな調査研究テーマを選定</li> </ul> <p>防災技術社会システム研究センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災関連資料の展示や、HIT ウィークエンドと称した一般向け週末ミニ講義を継続実施(サテライト)</li> </ul>	



31	住民等への防災意識の啓発	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>津波による被害と防災に対する市民への啓発(防災対策研修会の実施等)</p>	<p>【実施状況】</p> <p>地域防災組織の訓練実施状況 (H26.3.31 末現在)</p> <p>訓練実施団体 74 団体、訓練実施回数 46 回</p> <p>講師派遣</p> <p>自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣</p> <p>H24 年度:17 回 H25 年度:27 回</p> <p>「広報はちのへ」へ防災に関する連載記事掲載</p> <p>H25 年度: 4、6、8、10、1、3 月号に掲載</p> <p>まちなか防災広場 in はっち</p> <p>&lt;開催日&gt; H25.9.1~5</p> <p>&lt;内 容&gt; パネル展示</p> <p>ピアドゥ防災広場</p> <p>&lt;開催日&gt; H25.9.22</p> <p>&lt;内 容&gt; パネル展示、防災クイズ</p> <p>東日本大震災写真展の開催</p> <p>H25.11.5~12(「津波防災の日(11.5)」に合わせて開催)</p> <p>H26.3.10~14(「東日本大震災(3.11)」に合わせて開催)</p> <p>地域での防災訓練実施時及び防災広場開催時に、日常の防災対策や災害時の対応などが記載されたパンフレット等配布</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>事業継続実施</p>			

32	まるごとまちごとハザードマップ事業の実施	<b>H23 完了</b>
----	----------------------	---------------

**東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開**

33	東日本大震災を伝承する記録・ 資料の保存・公開	<事業主体> 県・市・広域事務組合・民	事業費	H25 決算 130,935 千円 H26 予算 1,728 千円
【事業概要】 被災・復旧・復興に係る記録・資料の保存公開及び公共施設への波高表示、消防本部新庁舎内への防災展示コーナーの設置・活用	【実施状況】 写真撮影 復旧・復興に係る事業者の取組み及び市民活動等の記録（継続中）等 震災の状況を伝える資料の収集・保存 市民等が記録した映像の収集（継続中） 東日本大震災写真展開催 H25.11.5～12（「津波防災の日（11.5）」に合わせて開催） H26.3.10～14（「東日本大震災（3.11）」に合わせて開催） 震災関連資料の保存・公開のための青森震災アーカイブシステムの構築完了（H26.4.1～運用開始）	【今後の予定】 ・青森震災アーカイブシステムへの新たな資料の保存等 ・その他写真展等事業継続実施		

**3．施策を取り巻く課題や論点**

関係機関・関係団体と連携した総合的な防災体制の早期構築 津波シミュレーション等を踏まえた災害時応急体制の充実・強化 市民一人ひとりの防災意識の醸成 震災の記録や資料の保存・活用と防災教育の推進
---

**4．復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見
その他自由意見

1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																														
施策名	4 - ( 2 ) 水・エネルギー対策の充実																														
施策の概要	水・エネルギー対策の充実		有識者アンケートにおける満足度																												
	〔目指す姿〕 水、エネルギー等のライフラインの強化のほか、省エネルギー対策の充実、再生可能エネルギーの導入促進により、災害に強いエネルギーの供給体制が構築されている。		<table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>1.40</td> <td>1.53</td> <td>1.52</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	1.40	1.53	1.52																						
	H24	H25	H26																												
1.40	1.53	1.52																													
施策の工程																															
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">復旧期</th> <th colspan="3">再生期</th> <th colspan="3">創造期</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H32</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ライフラインの復旧整備</td> <td colspan="3">LNG輸入基地計画の推進</td> <td colspan="3">節電・省エネルギー対策の推進</td> <td colspan="2">エネルギー供給体制の構築</td> </tr> </table>				復旧期		再生期			創造期			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	ライフラインの復旧整備		LNG輸入基地計画の推進			節電・省エネルギー対策の推進			エネルギー供給体制の構築	
復旧期		再生期			創造期																										
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																						
ライフラインの復旧整備		LNG輸入基地計画の推進			節電・省エネルギー対策の推進			エネルギー供給体制の構築																							
参考指標の動向																															
市公共施設への太陽光発電システム導入件数(施設数)																															
	震災前	震災後																													
	~ H22年度	H23 ~ 25年度	H26 ~ 27年度																												
施設数	5施設	7施設	16施設(予定)																												
導入施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市庁舎本館</li> <li>・東部終末処理場</li> <li>・江陽中学校</li> <li>・小中野中学校</li> <li>・白山台小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上小学校</li> <li>・柏崎小学校</li> <li>・白山台公民館</li> <li>・白山台ヒルズ集会所</li> <li>・多賀台集会所</li> <li>・城北小学校</li> <li>・白銀公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島守小学校</li> <li>・明治中学校</li> <li>・中沢中学校</li> <li>・第二中学校</li> <li>・第三中学校</li> <li>・南浜中学校</li> <li>・鮫公民館</li> <li>・白銀南公民館</li> <li>・湊公民館 ほか</li> </ul>																												

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）  
ライフラインの復旧・整備

01	上水道、電気、ガス、通信、工業用水道の復旧	H23 完了
02	石油燃料の供給回復	H23 完了
03	石油燃料の優先供給に関する協定の締結	H23 完了

04	ガスタービン発電設備の新設	<事業主体> 民	事業費	H25 決算 - 千円 H26 予算 - 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
震災後の供給電力不足を補う火力発電設備(ガスタービン)を八戸火力発電所に新設	H23.5.20 東北電力が河原木の八戸火力発電所に、緊急設置電源としてガスタービン整備を決定、工事着手(出力27.4万kW) H24.7 シンプルサイクル方式運転開始 H26.3 コンバインドサイクル方式試運転開始	H26.8 コンバインドサイクル方式運転開始(出力39.4万kW) H27.7 主燃料を軽油から天然ガス(LNG)に転換予定		

LNG 輸入基地計画の推進

05	エネルギーシステム転換の支援	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 4,855 千円 H26 予算 3,201 千円
【事業概要】	【実施状況】	【今後の予定】		
環境負荷低減のためのエネルギーシステムの転換に要する費用に対する補助及びLNG等の利用促進のための普及啓発	エネルギーシステム転換支援事業 <対 象> エネルギーシステムの転換に要する機械装置の整備等 <補助率> 1/6 以内 <申 請> 1 件 <補助額> 2,000 千円 (公募のほか、産業用途のボイラーを所有していると見込まれる企業に対し企業訪問の上 PR を行った) LNG等の利用促進のための普及啓発 「平成25年度 LNG 利活用推進セミナー in 八戸」開催 <内 容> シェルガス、水素イワ及び LNG 冷熱について <開催日> H26.2.24 <参加者> 140 名	事業継続実施		

06	LNG輸入基地計画の推進	<事業主体> 市・民	事業費
			H25 決算 0 千円 H26 予算 1,865 千円
【事業概要】 LNG 輸入基地の八戸港への立地計画の推進及び平成 27 年 4 月の LNG 輸入基地運転開始に対応した基盤整備等	【実施状況】 H22.1 八戸 LNG 基地の立地協定の締結 新日本石油(株) (現: J X 日鉱日石エネルギー(株))、青森県及び八戸市  建設工事の施工 H23.3 地盤改良工事完了 H23.8 LNG タンク基礎工事完了 H23.10 LNG ガス導管敷設工事着手 H24.10-11 LNG タンクのエアーレイジング(屋根浮上) 工事実施 H25.11 外航船棧橋・内国船棧橋の完成  関連企業訪問・視察 H24.5 市長以下によるシェブロン社(オーストラリア) 訪問及び LNG の製造拠点となるバロー島を視察。 地元自治体として J X 日鉱日石エネルギー(株)と一体となって LNG 輸入基地計画を推進していることを P R し、シェブロン社との信頼関係の醸成に努めた。	【今後の予定】 企業は、基地の建設、導管の布設等を実施し、市は、立地に係る各種届出等における円滑化を行う。国・県等は、調査を図りながら港湾整備に努める。 平成 27 年 4 月の操業開始に向けた市民向け見学会などイベントを実施する。  H26.5 市長以下によるシェブロン本社(アメリカ合衆国) 訪問を実施し、関係強化に努めた。	

節電・省エネルギー対策の推進

07	節電・省エネルギーの推進	<事業主体> 市・民	事業費
			H25 決算 12,779 千円 H26 予算 0 千円
【事業概要】 震災後の電力不足に係る節電・省エネルギーの推進	【実施状況】 数値目標を設けず無理のない範囲でできる限りの節電の協力を各部署に依頼した。 夏季と冬季の省エネルギー対策をホームページに掲載して市民に節電・省エネを呼びかけた。 市庁本館 1 階の照明設備改修工事を行い、LED 照明を導入した。 各年度の電力使用量は、うみねこプランの基準年度(H19 年度)と比較して以下のとおりであった。 ・H23 年度 2.91%削減 ・H24 年度 1.65%削減 ・H25 年度 5.06%削減	【今後の予定】 節電・省エネルギーの推進に率先して取り組む。	

08	新うみねこプランの推進	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 0千円	0千円
【事業概要】 市内から排出される二酸化炭素の削減計画策定及び進捗管理を行い、地球温暖化対策を推進するため節電・省エネルギー対策を実施	【実施状況】 住宅用太陽光発電システム導入支援事業 住宅用太陽光発電システムの設置に対して補助金を交付することによりその導入を促進し、持続可能な再生可能エネルギーの普及を図る。(H24年度で事業終了) うみねこプラン及び環境マネジメントシステムの推進 市の事務事業について、温室効果ガスの削減、省資源及び省エネルギーを目標とした計画の策定及びその進捗管理を行う。 市民・事業者の取組促進 市民、事業者、NPO 参加型環境保全活動への支援(リサイクルパートナー等)、環境展の開催、環境学習会の開催、こどもエコクラブによる環境学習の推進等 再生可能エネルギー等導入推進事業 国の「再生可能エネルギー等導入推進事業」を活用し、H27年度までに18カ所の小中学校・公民館へ太陽光発電システムと蓄電池等を設置する。			【今後の予定】 事業継続実施	
09	環境教育の充実	<事業主体> 市・高等教育機関	事業費	H25 決算 1,666千円	1,666千円
【事業概要】 小学校児童及び地域住民を対象とした、家庭でできる省エネ活動などに関する環境学習会の開催等及び高等教育機関による環境教育の支援	【実施状況】 出前環境学習会 <内容> 講師1名(職員)と補助員(職員及び有償ボランティア)数名が学校に出向き学習会を開催 <実績> 小学校10回 屋外環境学習会 <内容> 川や田んぼなどで体験型の学習会の実施 <実績> 小学校6回 地域住民対象出前講座 (町内会などの要望に基づき実施) <実績> 地域住民2回 登録ボランティア14人			【今後の予定】 事業継続実施 これまでの事業に加え、家庭ごみの減量講座を開催する(7月及び10月) 【26年度実施状況】 出前環境学習会:6回 屋外環境学習会:6回 地域住民対象出前講座:11回 (家庭ごみの減量講座含む) エコツアー:1回 広報はちのへ:特集記事3回	
10	災害時における公共交通の安定供給に関する検討(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 0千円	0千円
【事業概要】 バス等交通事業者、警察、国、県などの関係機関との連携による災害時を見据えた公共交通対策の検討	【実施状況】 「災害時公共交通対策検討分科会」の設置(H24.5)(バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、道路管理者、警察、学識経験者、一般市民等により構成) H24.5~H25.3 災害時公共交通対策検討分科会開催(10回) H24.5~H25.3 地域公共交通会議開催(4回) ・「八戸市災害時公共交通行動指針」策定(H25.3) ・八戸市地域防災計画の修正(H26.1)に合わせ、改訂後の同計画に行動指針の内容を反映			【今後の予定】 策定した行動指針に基づき、各事業者が大規模災害に備える。 ・行動指針に沿って情報伝達訓練を実施	

11	災害に強いまちづくり事業(電気自動車等購入費)	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 H26 予算	0 千円 0 千円
【事業概要】 災害時における燃料不足の際、人、物資の運搬等非常時の機動力・情報収集力を確保するため、災害対策本部が設置される市役所を中心に急速充電器を設置するとともに電気自動車を購入		【実施状況】 H24 年度 公用車として電気自動車 2 台導入、市庁に急速充電器 1 台設置  H25 年度 国・県の事業を活用した充電器設置を促進するため、市施設所管課へ国・県の補助制度を紹介		【今後の予定】 今後、状況に応じて整備について検討していく。	

**エネルギー供給体制の構築**

12	メガソーラー発電所の建設	H23 完了
----	--------------	--------

13	住宅用太陽光発電システム導入の支援	H24 完了
----	-------------------	--------

14	グリーンニューディール基金事業	H23 完了
----	-----------------	--------

15	再生可能エネルギーの導入促進	<事業主体> 市・民・高等教育機関	事業費	H25 決算 H26 予算	90,687 千円 453,600 千円
【事業概要】 公共施設における再生可能エネルギーの利用促進、グリーン電力証書の発行、太陽光・洋上風力・バイオマス等の導入の検討		【実施状況】 国の再生可能エネルギー等導入推進事業を活用し、公共施設に太陽光発電システム等を導入する。 H25 年度 設計委託 9 施設 16,976,400 円 設置工事 2 施設 73,710,000 円		【今後の予定】 事業継続実施	
16	畜産バイオマス利用による発電等の事業化の促進(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 H26 予算	0 千円 0 千円
【事業概要】 家畜排せつ物の焼却処理に伴う燃焼エネルギーを利用した発電、焼却灰の肥料利用を目的とした民間事業者による施設整備を側面から支援		【実施状況】 H24 年度に引き続き、鶏糞を利用した発電施設の設置に係る課題について、導入を検討している事業者と協議した。		【今後の予定】 畜産バイオマスを利用した発電施設の設置を検討する事業者に対し、必要な支援を行う。	

17	木質バイオマス利活用の可能性の 検討(再掲)	<事業主体> 国	事業費	H25 決算	- 千円
				H26 予算	- 千円
【事業概要】 災害廃棄物や間伐材等の木質バイオマスを利用したエネルギー供給事業の可能性の検討		【実施状況】 発電事業に関心のある事業者等の情報収集に努めた		【今後の予定】 事業継続実施	
18	木質ペレット利活用推進事業(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	3,347 千円
				H26 予算	4,557 千円
【事業概要】 地域の特色を活かした低炭素型都市を目指して、ペレットストーブの普及促進を図る		【実施状況】 ペレットストーブ導入に対する助成 <補助件数> 27 件 <補助金額> 3,320,000 円		【今後の予定】 事業継続実施 <補助件数> 30 件 <補助金額> 設置費用の 1/3 (上限 15 万円) H26 年 9 月末日まで応募申し込み受付を継続予定	

### 3. 施策を取り巻く課題や論点

未利用エネルギーの活用等による地域全体でのエネルギー利用の効率化  
再生可能エネルギーの普及拡大

### 4. 復興計画推進市民委員会意見

施策を取り巻く課題や論点に対する意見
その他自由意見



1. 施策情報

基本方向	4. 防災力の強化																																																								
施策名	4 - ( 3 ) 災害に強い地域づくり																																																								
施策の概要	災害に強い地域づくり																																																								
	文化・ボランティア・スポーツ	〔目指す姿〕 ボランティア活動や地域づくり活動などにより復旧・復興が促進されるとともに、文化・スポーツの振興や各種イベントを通じて、復興に向けた全体的な気運の醸成が図られている。	有識者アンケートにおける満足度 H24 H25 H26 1.60 1.65 1.70																																																						
	広域連携	〔目指す姿〕 これまで培ってきた広域連携の実績を生かし、八戸圏域内外との連携強化により、当市並びにゆかりのある市町村の創造的復興が推進されている。	有識者アンケートにおける満足度 H24 H25 H26 1.65 1.69 1.66																																																						
施策の工程																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>復旧期</th> <th>再生期</th> <th>創造期</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="10">ボランティア活動の促進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">災害に強い地域づくり活動の促進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">文化・スポーツの推進</td> </tr> <tr> <td colspan="10">地域連携による復旧・復興</td> </tr> </tbody> </table>					復旧期	再生期	創造期	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	ボランティア活動の促進										災害に強い地域づくり活動の促進										文化・スポーツの推進										地域連携による復旧・復興									
復旧期	再生期	創造期																																																							
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																
ボランティア活動の促進																																																									
災害に強い地域づくり活動の促進																																																									
文化・スポーツの推進																																																									
地域連携による復旧・復興																																																									
参考指標の動向																																																									
自主防災組織の状況																																																									
	震災前	震災後																																																							
	H23.2月末	H24.3月末	H25.5月末	H26.7月末																																																					
組織数 (女性消防クラブ含む)	71団体	76団体	84団体	81団体																																																					
対象世帯数	66,899世帯	71,885世帯	84,006世帯	84,810世帯																																																					
組織化率	64.9%	69.3%	79.8%	79.9%																																																					
組織化率 全国:77.9%(H25年4月現在)、青森県:42.9%(H26年4月現在)																																																									

2. 施策を構成する主要事業（創造的復興プロジェクト事業等）  
ボランティア活動の促進

01	災害ボランティアセンターの 運営内容の充実	<事業主体> 市・社会福祉協議会	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
【事業概要】 東日本大震災を ふまえた八戸市災 害ボランティアセ ンター運営マニ ュアルの整備やボ ランティアコーデ ィネーターの育成	【実施状況】 H25.7 災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議（第1回）の開催 H25.8 市総合防災訓練への参加 H25.11 青森県防災ボランティアコーディネーター 養成研修会への参加 H26.3 災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議（第2回）の開催	【今後の予定】 ・災害ボランティアセンターの 運営に参加・協力する団体間 の交流及び情報交換（災害ボ ランティアネットワーク八戸 連絡会議の開催） ・H26.7.23 災害ボランティア ネットワーク八戸連絡会議開催 ・災害時の支援活動を行うため の研修（八戸市総合防災訓練 への参加（マニュアルに基づ きセンター設置・運営訓練 等）） ・H26.8.31 八戸市総合防災 訓練へ参加予定 ・災害ボランティアコーディネ ーターの育成（青森県防災ボ ランティアコーディネーター 養成研修会への参加） ・災害時に活動をするボラン ティアの登録制度の検討（災害 ボランティア活動支援補助制 度の検討）			
02	自主的な災害ボランティア活動の実践	<事業主体> 市・高等教育機関	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
【事業概要】 市民や企業・各種 団体等の自主的な ボランティア活動 による被災者支援 及び地元大学等に よる災害ボラン ティア活動の実施	【実施状況】 防災デザインスクール 主体：八戸工業大学大学院建築デザイン研究会 実施事業：災害に強いまちづくり案の設計、災害 対策絵本の作成等 チーム北リアス（H23.5 発足） 実施主体：チームオール弘前、八戸工業高等専門 学校、八戸工業大学、八戸市社会福祉 協議会、八戸青年会議所ほか  <活動場所> 野田村 <活動内容> ・被災者支援ボランティア ・学習支援ボランティア ・復興まちづくり勉強会等への参加 3 高等教育機関震災フォーラム（開催日 H26.3.15） 八戸工業高等専門学校：チーム北リアス活動報告 ・野田村における北リアスの活動について ・野田村シャレットワークショップと復興まちづくり支 援の展望	【今後の予定】 事業継続実施			

災害に強い地域づくり活動の促進

03	災害時要援護者支援事業の 推進(再掲)	<事業主体> 市	事業費	H25 決算 664 千円 H26 予算 4,205 千円
【事業概要】 ひとり暮らし高齢者や障がい者などの要援護者に対する災害時における支援体制の整備・推進	【実施状況】 H25.4 要援護者支援の円滑化を図るためのマップシステム稼働 災害時要援護者登録者数 H23.10.3 現在 3,680 人 (うちひとり暮らし高齢者 2,795 人) H24.3.31 現在 3,698 人 (うちひとり暮らし高齢者 2,793 人) H25.3.31 現在 3,789 人 (うちひとり暮らし高齢者 2,859 人) H26.3.31 現在 3,777 人 (うちひとり暮らし高齢者 2,832 人)	【今後の予定】 ・災害対策基本法の改正に伴う要援護者の定義や支援体制等の見直し ・支援関係者への情報提供に対する要援護者の同意確認 ・災害時要援護者支援マップシステムの改修 ・災害時要援護者を地域で支援していく体制の充実 ・個別避難支援プランの作成 ・災害時要援護者及び避難支援者へのほっとスルメール制度の案内		
04	災害に強い地域コミュニティづくりの 推進(再掲)	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 1,500 千円 H26 予算 1,500 千円
【事業概要】 「災害に強い地域づくり会議」の開催を始めとする住民主体の地域づくり活動への支援、災害に強い地域コミュニティ計画策定への支援及び「元気な八戸づくり」市民奨励金の交付(災害に強い地域づくり応援コース)	【実施状況】 災害に強い地域づくり会議の開催支援 地域の被災状況や災害対応の現状と課題等の把握や、課題解決の方策等について、地域の連合町内会などの災害対応関係者により検討を行う会議の開催を支援する。 また、会議において発言された意見等をもとに以下の、の支援を行う。 災害に強い地域づくり計画の策定支援 地域における自主的な災害対応方法をまとめる災害に強い地域づくり計画の策定を支援する。 災害復旧に関する関係機関への要望活動支援 地域の復旧に必要な要望事項について取りまとめるなど、地域が関係機関へ働きかける際の支援を必要に応じて行う。 「元気な八戸づくり」市民奨励金(災害に強い地域づくり応援コース)の交付 H25 年度実績 6 件 ～ については H25 年度で終了	【今後の予定】 「元気な八戸づくり」市民奨励金(災害に強い地域づくり応援コース)の交付 ・H26 年度 交付決定 5 件 H26 年度末に交付確定		

05	自主防災組織の結成促進や活動支援・リーダー育成	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 14,092 千円	
				H26 予算 30,667 千円	
<p>【事業概要】</p> <p>自主防災組織の結成・活動・リーダー育成に対する支援</p>	<p>【実施状況】</p> <p>自主防災組織の設立状況 (H26.3.31 現在)</p> <p>&lt;組織数&gt; 85 団体 (84,477 世帯)</p> <p>&lt;組織率&gt; 80.0% (84,477 世帯 / 105,648 世帯)</p> <p>全国 77.9% (H25.4 現在)</p> <p>青森県 42.9% (H26.4 現在)</p> <p>&lt;設立団体数&gt; H23 年度 7 団体</p> <p>H24 年度 7 団体</p> <p>H25 年度 3 団体</p> <p>自主防災組織リーダー研修会</p> <p>青森県自主防災組織リーダー研修会 (H25.7.30~31)</p> <p>八戸市自主防災組織リーダー研修会 (H25.11.28)</p> <p>八戸市自主防災組織育成事業補助金</p> <p>自主防災組織の資機材整備に要する経費へ助成 交付金額 14,024 千円 (11 団体)</p> <p>自治総合センターの地域防災組織育成助成事業 H25 採択実績なし</p> <p>講師派遣</p> <p>自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会、研修会への講師派遣</p> <p>H24 年度 : 17 回、H25 年度 : 27 回</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>事業継続実施</p> <p>(新規)</p> <p>八戸市防災士育成事業の実施 地域における防災力の向上の担い手となる防災士を養成するため、資格取得に要する費用の一部を補助するもの</p>			
06	海を生かした地域づくり活動の促進	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 950 千円	
				H26 予算 1,000 千円	
<p>【事業概要】</p> <p>「湊日曜朝市・海の朝市」「海フェスタ」など、市民団体やNPO等の海を生かした地域づくり活動の促進</p>	<p>【実施状況】</p> <p>東日本大震災からの復興に向けた全市的な気運の醸成を図るため、市民団体等が行う海を生かしたまちづくりに寄与するイベントに対し、助成金を交付</p> <p>&lt;助成対象団体&gt;</p> <p>市内のNPO法人、市民団体 (構成員5人以上)</p> <p>&lt;助成額&gt;</p> <p>助成対象経費の1/2以内 (上限50万円)</p> <p>特に効果が高いと認められた場合は上限100万円</p> <p>&lt;選考方法&gt;</p> <p>書類審査及びプレゼンテーション審査</p> <p>&lt;H25 助成事業及び団体 / 決算額 950 千円&gt;</p> <p>「2013 八戸港カッターレース」 (八戸海洋少年団 / 500 千円)</p> <p>「夏!! 海フェスタ」 (NPO法人ACTY / 150 千円)</p> <p>「ヒューマンバンド on3.11」 (ヒューマンバンドあおもり / 300 千円)</p>	<p>【今後の予定】</p> <p>事業継続実施</p>			

文化・スポーツの推進

07	復興をテーマとするフォーラム・シンポジウムの開催	<事業主体> 県・市・高等教育機関等	事業費	H25 決算 2,484 千円 H26 予算 0 千円
【事業概要】 「東日本大震災復興フォーラム」 「八戸ふるさと交流フォーラム」等の開催	【実施状況】 主な開催状況 H25.8.8 東日本大震災復興フォーラム～より強い、より元気な、より美しい八戸を目指して～(主催:八戸市) H26.1.30 第5回防災フォーラム(主催:八戸工業大学防災技術社会システム研究センター) H26.2.13 東北4県・東日本大震災復興フォーラム(主催:東北4県・東日本大震災復興フォーラム実行委員会(構成団体:青森県、岩手県、福島県、宮城県)) H26.3.10～14 東日本大震災写真展・小学生復興図画展の開催(主催:八戸市) H26.3.11 3.11 防災フォーラム2014(主催:八戸工業大学・公益社団法人土木学会東北支部) H26.3.15 3 高等教育機関震災フォーラム(主催:八戸工業大学・八戸学院大学・八戸工業高等専門学校)	【今後の予定】 H27.3.14～18 第3回国連防災世界会議 in 仙台・シンポジウムなど会議形式のイベント ・防災・復興に関するブース出展 ・ポスター展示等		
08	復興を応援するスポーツイベントの開催	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 532 千円 H26 予算 0 千円
【事業概要】 「がんばろう!東北2011 熱戦再来 北東北総体」「FCバルセロナチャリティキャンプ」等、復興支援を掲げるスポーツイベントの開催	【実施状況】 宝くじスポーツフェア はつらつママさんバレーボール in はちのへ <主催> 青森県、八戸市、(財)自治総合センター <開催日> H25.9.28～29 <会場> 八戸市東体育館	【今後の予定】 イースタンリーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス対阪神タイガース」(2軍交流戦) <主催> 楽天野球団 当市は協力及び後援 <開催日> H26.8.9(土) <会場> 長根公園野球場		
09	復興を支援する芸術文化事業の実施	<事業主体> 市・民	事業費	H25 決算 700 千円 H26 予算 700 千円
【事業概要】 「湊橋八戸小唄まつり」「デイリリー・アート・サーカス2011」等、復興を支援する芸術文化事業の実施	【実施状況】 八戸小唄まつり事業実施補助金 「八戸小唄」の普及や伝承が期待できる事業実施団体に対し、事業実施に要する経費の一部を補助 ・湊橋八戸小唄まつり実行委員会(500千円) (第3回湊橋八戸小唄まつり) ・さめ浜まつり実行委員会(200千円) (第14回さめ浜まつり) 「NHK のど自慢」公開収録の実施 H26.3.9 八戸市公会堂 出場応募総数 744 組、出場者数 20 組 観覧応募総数 10,544 通、入場者数 1,430 人	【今後の予定】 事業継続実施		

10	アートのまちづくりの推進	<事業主体> 市・民	事業費 H25 決算 31,890 千円 H26 予算 38,926 千円
【事業概要】 「南郷アートプロジェクト」等、「アート」を切り口に、地域課題の解決や、まちの活力創出につながる事業の実施	【実施状況】 南郷アートプロジェクト ・連携企画「サマーダンスセミナー in 南郷」 ・連携企画「酔っ払いに愛を」において、「森下真樹 いないDE ショウ！」 ・連携企画「ジャズ講座」 ・コミュニティプロジェクト 家×ダンス「南郷コシツ2」 ・コミュニティプロジェクト 学校×ダンス「映画つくろう！ハトダンス大作戦」実施 ・ダンス公演「Dance x Jazz vol.3」 ・「アーティスト定住実験プロジェクト」	【今後の予定】 南郷アートプロジェクト ・ダンス公演「Dance x Jazz vol.4」 ・コミュニティプログラム ・合宿プログラム ・ワークショップ/アウトリーチプロジェクト ・アーティスト定住実験プロジェクト 等	
11	文化財の保存・活用	<事業主体> 関係 4 道県・関係市町	事業費 H25 決算 5,036 千円 H26 予算 4,880 千円
【事業概要】 史跡、天然記念物、民俗文化財、国・県・市指定文化財等の適切な保存・管理及び積極的な活用及び是川遺跡、長七谷地貝塚を含む北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	【実施状況】 史跡長七谷地貝塚 H25.8 史跡隣地の不要ガードレール除却 県重宝新羅神社本殿・拝殿の修理に対する補助 H25.7 補助金交付決定 H26.3 新羅神社拝殿屋根等修理完了 はちのへ文化財ガイドブック改訂版 H26.3~ 作成・配布・販売 世界遺産登録関係 ・世界遺産登録推薦書原案作成及び提出 ・縄文遺跡群パネル展の実施(8/19~H26.1/31、2/3~2/8)	【今後の予定】 文化財の保存・管理関係 ・県重宝「新羅神社本殿・拝殿」の修理補助 世界遺産登録関係 ・史跡長七谷地貝塚の環境整備(注意看板の設置、破損した説明板の修繕) ・縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす北海道、北東北の4道県が開催する世界遺産保存活用協議会連絡会議への出席及び登録推薦書案作成事業など	
12	是川縄文の里の整備	<事業主体> 市	事業費 H25 決算 27,284 千円 H26 予算 82,764 千円
【事業概要】 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の運営及び是川遺跡の復元、縄文の森の整備等	【実施状況】 ・H25.10 是川石器時代遺跡史跡追加指定 ・史跡草刈り委託 ・是川縄文館への案内誘導標識設置(8箇所) ・年3回の企画展等のほか、考古学講座、ボランティア養成講座等の開催	【今後の予定】 ・年3回の企画展等のほか、考古学講座、ボランティア養成講座等の教育普及活動 ・史跡公有化 ・案内標識改修工事(1箇所更新) ・保存管理計画の策定 ・整備のための発掘調査の実施	

13	八戸スポーツ振興協議会の活動促進	<事業主体> その他	事業費	H25 決算	1,353 千円
				H26 予算	6,580 千円
【事業概要】 アイスホッケーやサッカー等、当市に活動拠点のあるスポーツチームの支援による地域スポーツの振興	【実施状況】 八戸スポーツ振興協議会(H21.10.5 設立/市・関係団体で構成)として、チームの知名度の向上を図る「広告宣伝事業」、市民との交流を図る「イベント支援事業」、戦績報告や情報交換を行う「会議開催事業」等の事業を行う。 広告宣伝事業 ・広報はちのへ偶数月号裏面へ、両チーム(東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸)の紹介及び試合日程の告知記事の掲載 ・中心街(三日町・十三日町)へのバナーフラッグの掲出 ・市ホームページでのチーム紹介、試合日程及び結果の掲載 その他事業 ・両チームのホームゲームに合わせ、シャトルバスの運行(試合日各1台) ・バナーフラッグ掲出箇所の拡大 ・ヴァンラーレ八戸の成績報告会開催	【今後の予定】 事業継続実施 (「広告宣伝」、「イベント支援」、「会議開催」等の各事業を行い、チームの知名度の向上を図るとともに、地域スポーツの振興や地域経済の活性化に努める)			
14	八戸市体育館の改築の検討	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	0 千円
				H26 予算	0 千円
【事業概要】 防災拠点機能も有する、八戸市体育館の改築または耐震化工事の検討	【実施状況】 改築または耐震化工事の推進に向けて、財源確保策等の検討	【今後の予定】 改正耐震改修促進法に基づく耐震診断に向けた準備事務等			
15	(仮称)多賀地区多目的運動場整備	<事業主体> 市	事業費	H25 決算	79,684 千円
				H26 予算	359,193 千円
【事業概要】 住家被害が最も大きかった多賀地区の震災復興及び活力創出を図るため、多賀地区五戸川以北の津波避難複合施設の整備と併せて、多目的運動場の整備	【実施状況】 多賀地区多目的運動場整備基本構想策定委員会の開催状況 H25.6.24 委員会設立等(第1回) 7.30 施設整備計画案等の検討(第2回) 8.27 整備基本構想素案等の検討(第3回) 9.10 地元意見交換会(橋向生活館) 9.24 整備基本構想案の取りまとめ(第4回) 10.7 整備基本構想案を市長へ提出 (仮称)多賀地区多目的運動場整備基本構想 H25.10.8 市として整備基本構想策定 (仮称)多賀地区多目的運動場基本設計 H26.3.20 基本設計完了	【今後の予定】 事業継続実施 (地質調査、用地買収、実施設計、関係機関との協議、許認可に関する申請手続き、工事着手等)			

地域連携による復旧・復興

16	北奥羽・三陸沿岸都市への支援物資の援助	H23 完了
----	---------------------	--------

17	被災地への市民病院医師等派遣	H23 完了
----	----------------	--------

18	被災地への応急給水支援等	H23 完了
----	--------------	--------

19	緊急消防援助隊の派遣による支援	H23 完了
----	-----------------	--------

20	県外避難者の受入	<事業主体> 県・市	事業費	H25 決算 39 千円	H26 予算 40 千円
<p>【事業概要】</p> <p>県外からの避難者の当市への受入</p>	<p>【実施状況】</p> <p>県外避難者の状況 (H26.8.5 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難者数・世帯数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県 18 人 ( 7 世帯 )</li> <li>宮城県 33 人 ( 14 世帯 )</li> <li>福島県 132 人 ( 49 世帯 )</li> <li>計 183 人 ( 70 世帯 )</li> </ul> </li> <li>・ 居住先住宅種別                             <ul style="list-style-type: none"> <li>親戚宅・アパート等 110 人 ( 40 世帯 )</li> <li>雇用促進住宅 23 人 ( 11 世帯 )</li> <li>青森県借上げ住宅 50 人 ( 19 世帯 )</li> <li>計 183 人 ( 70 世帯 )</li> </ul> </li> </ul> <p>県外避難者交流会の開催状況(H25 年度 4 回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H25.10.20、11.17 心も体も湯ったりにっこり温泉ツアー (主催: 災害ボランティアコーディネーター連絡協議会、協力: 八戸市、市社会福祉協議会、青森県等)</li> <li>・ H25.11.24 ものづくりワークショップ&amp;おしゃべり会 (主催: チーム kokoro、共催: 市社会福祉協議会、協力: 青森県、八戸市等)</li> <li>・ H25.12.8 おしゃべり&amp;クリスマスケーキをつくろう会 (主催: チーム kokoro、共催: 市社会福祉協議会、協力: 青森県、八戸市等)</li> </ul>				
			<p>【今後の予定】</p> <p>事業継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H26.7.6 県外避難者交流会開催 「日帰りバスツアー」 (主催: チーム kokoro、協力: 市社会福祉協議会、青森県、八戸市等)</li> </ul>		

21	東日本大震災被災者招聘事業	H23 完了
----	---------------	--------



22 三圏域等の災害時応援協定の検証

H23 完了

**3 . 施策を取り巻く課題や論点**

安全・安心に向けた地域のつながりの強化  
 市民と行政の協働のまちづくりの推進  
 当市の特色ある学術・文化・スポーツの促進によるまちの活力の創出  
 復興に向けた新たな広域連携の創造

**4 . 復興計画推進市民委員会意見**

施策を取り巻く課題や論点に対する意見

その他自由意見